

自分の将来・卒業後の“進路”を考えていこう

《自分らしい進路選択をするために》

進路選択には様々な条件が必要となります。自分の進路希望、選んだ理由、興味関心や適性、学習の進捗など、自分自身について深く理解することが必要不可欠です。具体的な進路選択に向け、自分自身の個性や適性を見つめて、希望する進路、将来に向けて考えを深めていきましょう。そして将来の夢に向けての志望校を選んでいきましょう。



進路を決めるチェックポイント＝自分を見つめよう

次の観点から進路を判断するために、自分のことをメモしよう。

【興味・関心】

趣味・特技、部活動：
校外における様々な活動：
興味・関心のある職業：

【学習面】

好き・得意な教科：
好きな学習形態 ☐ をつける（ ）教科書などを使い、学ぶ （ ）手先や体を使って体得する実習
興味・関心のある職業（分野など）：

【性格・個性】

長所：
短所：
努力していること：
周囲の人からほめられること：

【将来の夢・目標】

進路の希望：
高校で頑張りたいこと：
10年後になりたい自分：
家族の意見：

志望校選びのポイント

「高校へ行きたいなー。」始めはただ漠然としているかもしれません。でも、もうそろそろ高校で何をしたいのか、何をするのかを考えていく時期です。そして、自分人生の目的にあった高校を探していますか。あなたの『行きたい高校』探しを始めましょう。

普通科かその他の学科か？

学びたいことがはっきりしている場合は、工業科や商業科などへの道も考えてみましょう。

将来の進路が実現できそうか？

高校卒業後に、めざす進路をかなえることができるかも考えておくことが大切です。

公立か私立か？

私立は公立に比べ学費は高めですが、その分施設や部活動が充実している場合が多く、校風にも特色があります。

雰囲気は自分に合っているか？

学校の環境や雰囲気はどうか。体験入学など直に触れる機会を生かして感じてほしいものです。

行事や部活動はどうか？

楽しく充実した学校生活を送るためにも、学校行事や部活動についても調べましょう。

家から通える場所か？

3年間または5年間毎日通うので、通学時間・方法もしっかり考えましょう。

合格可能か？

受験校決定までにはまだ時間があります。受験までのこれからの努力で合格が可能となる学校か。

卒業可能か？

入学してから、意欲的に学び、単位を取って卒業できると思われるか。入学してからのことも大切です。

〔 入試は資格試験とは違い、選抜試験です。定員が決められているので、行きたいだけでは行けません。さらに学力検査だけでなく、面接や実技試験が行われる場合もあります。高校側から、あなたに入学して欲しいと思われるような学力や意欲が求められます。 〕

以上のように、「**入学する時**」「**入学してから**」「**卒業する時**」のことを考えることが大切です。

**進路希望調査をきっかけにして、真剣に考え、家でも話し合おう。
進路決定は自分の意思と責任で！！**

《体験入学・部活動体験参加について》

夏休みを中心に公立高校・私立高校の体験入学が行われます。掲示板やパンフレットで少しずつ予定が出てきています。興味を持った高校の活動に積極的に参加し、その学校の雰囲気を肌で感じてきましょう。

☆ 志望する高校(学科)は必ず参加しよう。

☆ 志望校がまだ決まっていない人は、私立・公立、普通科・商業科・工業科などを比較できるように参加しよう。

☆ 私立高校、公立高校に各1校は参加しよう。

(例年 1人 2校程度に参加しています。)

今から考えておこう

！！！！注意 《申し込みをしたら、必ず参加すること》！！！！

《参加の心得》

☆ 北辰中生として、誇りを持った立派な言動で参加しよう。

- ① 興味を持って意欲的に活動に参加しよう。
- ② 挨拶や言葉遣い、服装(制服)、身なりに気をつけよう。
- ③ 家を出てから家に帰るまでが体験入学と考えよう。(寄り道厳禁)

